

◦ St. Patrick's Day !

3/17 はセント・パトリック・デーでした。この行事はキリスト教とアイルランドにまつわる日なのですが、日本と比べアメリカでは認知度が高く他の行事のように盛り上がります。先月ご紹介したカフェ“Coffee Amici”でも、セント・パトリック・デーのモチーフである緑色やクローバーを取り入れた商品が売られていました。個人的に緑色は好きな色なので、とてもいい雰囲気だと感じました。



◦ デトロイト総領事との懇談

3/18 には、デトロイト総領事の岸守総領事がフィンドレー大学を訪問されました。日本人留学生や日本語を学ぶ生徒たちと話す機会を設けてくださり、日本人として異国の地で働くことに関して、経験談を踏まえ総領事の見解をお聞きすることができました。また、令和5年度奨学生の河原塚様も現在デトロイトで総領事と関わるインターンシップに参加されており、この機会にお会いすることができました。お二人から貴重なお話を伺うことができ、残りの留学生活で自分には何ができるのか、改めて考えなおすきっかけとなりました。

◦ Hanami Festival

とある週末には、ボウリンググリーン州立大学を訪れ、Cherry Blossom Festival に参加しました。実際に桜が咲いていたわけではないのですが、英語でも Hanami という言葉が知られていることに驚きました。来場者はとても多く、お茶菓子やお寿司の味見もできました。ステージでは練り切りづくりのデモンストレーション、日本舞踊や太鼓のパフォーマンスなどがあり迫力満点でした。



◦ Children Mentoring

以前からご紹介している Communicative Practices の一環として、今月は Children Mentoring という学童保育のようなコミュニティの皆さんとの交流がありました。主に奨学生と、そのメンターたちが参加します。今回はテーマを日本の運動会にしました。なかなか運動会が日本文化として取り上げられることは少ないですが、日本ではだれもが慣れ親しんでいるものであり、子供たちに楽しんでもらえるに違いないと考え、玉入れや大縄とびをしました。チーム対決だったので、子供たちが競争心をもって熱く取り組んでいる姿がとても印象的でした。また、メンターにはフィンドレー大学生が多くおり、学生が教育サポートや社会福祉に関わる機会が開けていることが素晴らしいと感じました。



○ International Night



3月末には、インターナショナルナイトと呼ばれる、留学生が主役となる一大イベントがありました。ここでは、各国の料理の屋台が出され、ステージでパフォーマンスが行われます。私たち日本人のグループは、屋台ではツナマヨおにぎりとお箸体験を、ステージでは書道のパフォーマンスを出しました。（書道を書いている間には日本語を学ぶ学生たちがダンスのパフォーマンスをしてくれました。）みんなで浴衣を着て参加したので、多くの人に似合っていると言ってもらえ嬉しかったです。写真の FINDLAY の文字は、フィンドレー大学のカラーであるオレンジに合わせ朱墨で書きました。



○ キャンパスツアー

3/28には、キャンパスツアーを行いました。これは埼玉県の小川町からいらっしゃった高校の先生方に対して行ったものです。ついに私もキャンパスを紹介する立場になったのだと思うと、感慨深いものがありました。この先生方は小川町の高校生とオハイオ州が交流するプログラムに同行していらっしゃったようで、フィンドレー以外にもオハイオ州と埼玉県とのつながりがあることをとてもうれしく思いました。さらにフィンドレー大学の教授も一緒にキャンパスを周ってくださり、フィンドレーが歴史的に石油産業で栄えた地であることから、"Findlay Oilers" (フィンドレー大学の学生やスポーツチームの愛称)と名付けられたことなどを教えてくださいました。ずいぶん慣れ親しんだキャンパスですが、改めて観察すると興味深いことだらけだと感じました。

他にも、3月は野球観戦や友人のミュージカル鑑賞なども楽しみました。それと同時に、留学の終わりを意識する機会が急激に増えた月でもありました。周りの人たちを大切に、残りの時間も過ごしていきます。



本プログラムやフィンドレーでの生活に関して何か気になることがございましたら、tanakam1@findlay.edu までお気軽にご連絡ください。少しでも皆様のお力になることができれば幸いです。